

環境について
みなさんもう一度真剣に考えてみませんか？

Save The Kikuchi River

「鬼追いしかの山 小鮒つりしかの川」大人も子どももみんなが親しく歌うこの歌の小鮒はおそらくギンブナの子ともです。ギンブナは日本をはじめ朝鮮半島、台湾を含むユーラシア大陸に広く分布します。終戦直後、あまり農業が使われなかった頃は、田植えの後、田んぼの苗がすくすくと育っている水口には、いつもコブナやドジョウ、ナマズの子などもが集まっていた。学校から帰るとシヨウケを片手に田んぼの水口へコブナやドジョウをすくいに行っていた。

コイ目、コイ科、コイ亜科、フナ属、ギンブナ。この辺りで捕れるフナはほとんどギンブナと思っていよいよです。日本には何種類かのフナがいます。ギンブナ・キンブナ・ゲンゴロウブナ・ゴロブナなどですが、フナの分類は大変難しく、私たちになかなか区別ができません。一般的にマブナと言われているのは、ゲンゴロウブナ以外をまとめて言っているように、マブナという種類はありません。

ギンブナは大きくて30センチですがゲンゴロウブナは40センチにもなりません。琵琶湖の固有種で釣りの対象として人気があり、日本各地に放流されています。ヘラブナは、もともとゲンゴロウブナを養殖用や釣堀用として改良したものです。二房ダム、荒瀬ダム、江津湖

などに放流してあります。冬季の江津湖のヘラブナ釣りは全国でも有名です。たまに突然変異で赤くなったものを「ヒブナ」と言いますが、金魚はこのヒブナを改良したものです。フナの外見はコイに似ていますが、口もとにひげがなくコイほど大きくありません。

子でも良いようです。いわば、無性生殖のようなものです。川の流れの緩やかな場所や池、湖沼など身近な所の至る所に生息しているので、子どもの頃から歌ってきた「こぶな釣りし彼の川」は遠く離れても懐かしいのだと思います。「釣りは鮒に始まり鮒に終わる」と言われるほど鮒釣りは釣りの基本でありまた、ベテランにとっても奥深い醍醐味があるのではないのでしょうか。

調理法としては、滋賀県の鮒寿司、三重県の鮒味噌、佐賀県の鮒の昆布巻きなどが郷土料理として有名です。菊池川流域では塩焼き、煮つけ、甘露煮、串焼きなどで食べます。



歴史調査の楽しみ方

志口永城跡

4

大田 幸博

(元菊池川流域同盟 水援隊長)

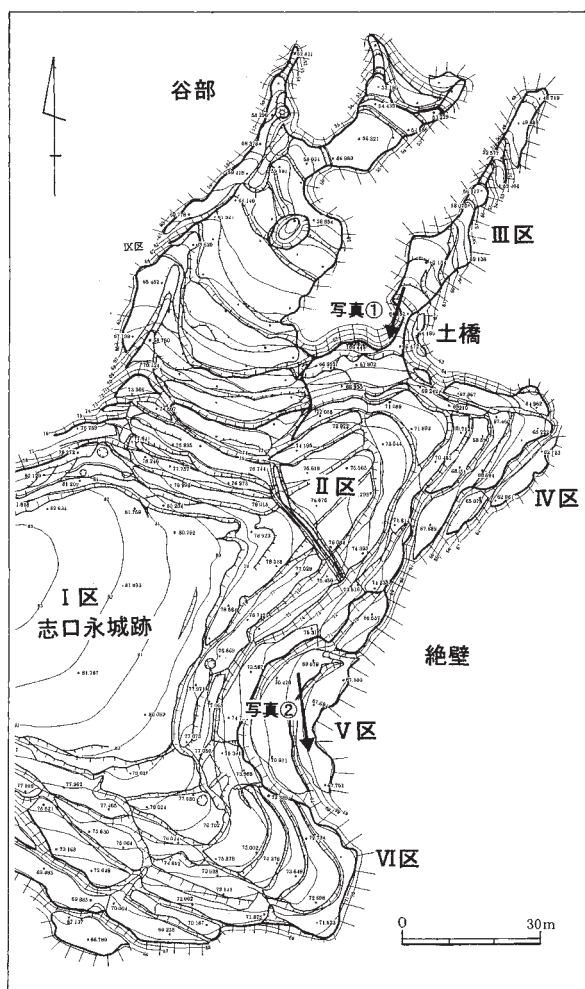
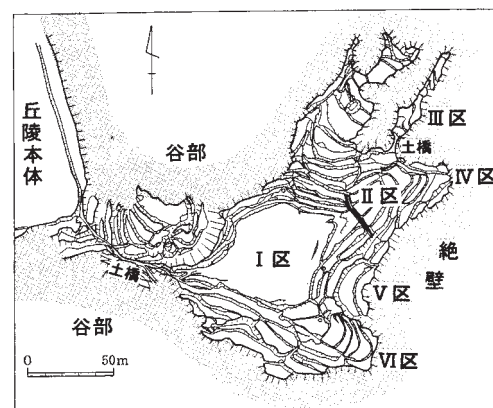
区分けされていません。四方の斜面部で、あれだけ大規模な造成を行っているわけですから、首を傾げたくありません。



写真① Ⅲ区・土橋



写真② V区・帯状削平地



面に繁っていた、下草や雑木の伐採が進み、縄張りの様子が良く分かる様になりました。今月号で取り上げる場所は、Ⅰ区から見て、Ⅱ区Ⅳ区は北東側、Ⅴ区は東側、Ⅵ区は南東側にあたります。

Ⅱ区 4つの小平場に分かれていますが、2つの区画です。いずれも縦長で、全体としては、長さ20m、最大幅24m、標高は73m〜77mになります。これらを、2段の弧形状の削平地が、取り囲んでいます。これまで含めると、長さは全37m、標高は71mまで下がります。この区画の西端には、長さ28m、幅1mの小溝があり、東肩部に小土塁が積まれています。Ⅰ区は、標高78m〜80mまで自然地形の状態を下り、この小溝に接しています。

Ⅲ区 Ⅱ区の北東側から、高さにして2.6m下ると、標高66.5mの地点に、地形の大きな括れ部があります。明らかに造成されており(両側から切り込まれています)、幅1m〜3m、長さ7mで、土橋の形をしています(写真)。この先は、土塁のようで、長さ57mの、直線的な張り出し区画になります。上面域の最大幅は、標高60mの地点で、8.5m。標高58mから下位は、再度、括れて、末端部に至ります。そして、標高49.9mの地点で、長さ

14m、幅3.5m〜5mの小平場となり、この地形が終わっています。物見の場所でしょうか。

Ⅳ区 Ⅱ区の東下に、八つの帯状・削平地があります。この中で、長軸の向きから二つだけが東西方向にあり、残りは、いずれも南北方向です。後者は、上下4段の連なりで、標高71.8m〜62.1mの範囲に、収まっています。

Ⅴ区 Ⅰ区の東下に、七つの帯状・削平地があります。長軸の向きは、全て、南北方向にあり、弧形状の平場です。上下5段の連なりで、下から2段目は、全長33m、最大幅8.5mの大きさがありません。これらは、標高67.1m〜78mの範囲に収まっています。

Ⅵ区 Ⅰ区の南東下に、7つの削平地があります。全体として、長方形の張り出し区画です。全長58m、最大幅22.5m、長軸を横断する形で造成されており、標高71.5m〜79mの範囲に収まっています。最下段は、両端が角張っているのが特徴です。

Ⅶ区 この城跡は単郭形式で、Ⅰ区が中心の縄張りです。この区画は、東西50m×南北57mの広さで、全体が、西側から東側の緩傾斜地です。両端で3.5mの高低差があります。でも、この区画は平地で、